

一般社団法人 日本動物実験代替法学会
2025 年度事業計画
(第Ⅱ期：2024 年 9 月～2025 年 8 月)

理事長 板垣 宏
総務担当理事 豊田 明美

I. 役員の構成

1. 法人 役員構成

理事長（代表理事）	板垣 宏
副理事長	諫田 泰成
理事_総務	豊田 明美
理事_企画	山下 邦彦
理事_編集	石田 誠一
理事_広報・SDGs-WG	古川 克子
理事_国際交流	酒井 康行
理事_会計・財務	笠原 利彦
理事_学術	小島 肇
理事_3Rs 啓発	吉成 浩一
監事	杉山 真理子
監事	渡辺 美香

2. 大会長

第 37 回大会長（2024 年）	坂口 齊
第 38 回大会長（2025 年）	福田 淳二

3. 委員会・ワーキンググループ（WG）委員長

総務委員会	安保 孝幸
企画委員会	池田 英史
編集委員会	古水 雄志
広報委員会	西川 昌輝
国際交流委員会	畑尾 正人
財務委員会	梅下 和彦
学術委員会	福田 淳二
3Rs 啓発委員会	梨本 裕司
SDGs-WG	古屋 律子

II. 活動方針

1. 学術的支援活動

1) 講演会等

動物実験代替法の普及促進のため、学会が今後目指すべきエリアなどの共有や課題発掘のきっかけとして代替法に関する最新のトピックスに沿ったシンポジウム形式の講演会、試験法に関する講演会を実施する。

➤ 第 37 回大会におけるシンポジウム主催

[企画委員会] 「皮膚感作性評価の最前線」

[国際交流委員会] 国際シンポジウム「Current International Trend of Next Generation Risk Assessment (NGRA)」

2) 技術講習会

OECD テストガイドラインに記載された試験法の技術習得促進を目的として実施する。

[企画委員会]

3) 他学会との協業

3Rs 普及のため、他学会との連携を推進する。関連学会の情報収集やリストアップを進め、関連学会との共催シンポジウムの提案を行う。[学術委員会]

1) 日本組織培養学会大会（山口）での合同シンポジウム

2) 化学とマイクロナノシステム学会との合同シンポジウム

（2024 年 11 月 FT2024 仙台、2026 年度第 38 回大会予定）

3) 日本実験動物学会第 73 回総会（沖縄）での合同シンポジウム（2026 年度予定）

2. 国際交流活動

1) Asian Federation

2024 年 12 月の設立を予定している。アジアにおける動物実験代替法の普及促進のため、KSAAE(The Korean Society for Alternatives to Animal Experiments), 中国 TATT(Toxicology Alternatives and Translational Toxicology), SAAE-I(Society for Alternatives to Animal Experiments-India)などと連携し活動を行う。

2) 欧米アジアとの交流

24 年 9 月 EUSAAT、25 年 6 月 KSAAE、25 年 7 月中国 TATT、25 年 8 月 WC13

3) 会員への国際情報発信を強化

国際情報を積極的に収集し、メールニュースで国際情報を毎月会員に発信する。また、広報委員会および 3Rs 啓発委員会とともに、HP で国内動向を海外に発信する。

3. 3Rs 啓発活動

1) 出前講義

・高校生、大学生、大学院生、あるいは市民に対して 3Rs や動物実験代替法に関する講義を行う。年間 6 件を目標に取り組む（大学 3 件、高校 3 件）。学会員の所属機関（大学）での講義の取り扱いに加え、高校での講義実績を増やし、チャレンジコンテストの応募増加につなげていく。

- ・新しい学会ホームページに出前講義のウェブページを開設し、申込件数の増加につなげる。

2) チャレンジコンテスト

- ・高校生に対して 3Rs や動物実験代替法に関する啓発の機会を提供する。
- ・チャレンジコンテストのウェブページの充実を図る。動画の掲載など、高校生の世代に伝わりやすいツールを導入する。
- ・協賛金に賛同していただける企業が学会メンバーではない場合には、学会メンバーにもなっていただけるように、3Rs 啓発活動を行う。例えば出前講義を提案する。あるいは、企業座談会の対談先として紹介する。

3) 企業座談会（企業探訪シリーズ）

- ・学会の会員である企業や非会員である企業に対して、座談会という形で 3Rs に関する思いや、日本動物実験代替法学会に対する希望などをお伺いする。
- ・ニュースレターの記事として学会メンバーに公開することは、これまで通り実施する。ウェブサイトにも専用ページをつくり、pdf ファイルとして一般の方々にも公開する。
- ・学会の活動が当該企業のニーズにどのようにマッチするかも併せて考え、学会の持続的な発展と当該企業の経済活動が両立する関係性を模索する。
- ・年間 2 回程度を実施する。

4. 出版活動

1) 学会誌の発行

- ・学会誌「Alternative to animal testing and experimentation (AATEX)」を発行する。
- ・2024 年 9 月～2025 年 8 月の期間中に第 29 巻 2 号、第 37 回大会 Supplement、第 30 巻 1 号、AATEX-JACVAM Vol.13 No.1 の発行を予定している。
- ・PMC 収載に関する手続きを継続して進める。投稿規定の改訂、査読ガイドライン、倫理規定の改訂を行う。盗用・剽窃チェックツールの導入について検討を行う。AATEX 誌でのアプリケーションノートセクションの設置を進める。PMC 収載後の対応として、AATEX 印刷の外注化と AATEX 活性化について検討する。

2) ニュースレターの発行

必要に応じて、年 2-3 回の頻度で、ニュースレターを配信する。

- No.76：2024 年 10 月（大会直前）
- No.77：2025 年 3 月
- No.78：2025 年 7 月
- No.79：2025 年 10 月(大会直前)

5. 広報活動

1) HP について

- ・情報掲載作業を簡略化し、情報掲載依頼から HP に情報が掲載されるまでの期間の短縮を目指す。情報掲載の依頼は、関連理事、委員長に情報が迅速に共有されるシステムを構築し、着

実な情報共有体制を実現する。情報掲載の可否を、情報掲載依頼が発生してから3日以内に判断するシステムを完成させる。これらのやり取りがスプレッドシートに記録されることによる、情報共有システムの完成を目指す。

- ・外部段階から情報掲載依頼があった際には、共催・協賛・覚書締結の確認を行う。これらの作業が行われてない団体から情報の掲載依頼があった場合には、広報委員会で内容を精査した上で、理事会に共催・協賛・覚書締結の依頼をメール審議の形で依頼する。

- ・HPに掲載されている協賛団体の情報は、ニュースレター発行時に広報委員会が学会支援機構に最新情報を問い合わせ、内容の更新を行う。

2) メールニュースについて

- ・会員に向けた情報発信を行う。情報掲載の依頼方法を簡素化したことによるメールニュースの発行部数の増加効果を期待する。海外関連団体情報の定期発行(1回/月)および関連団体のイベント開催、各種研究助成ニュースを配信する。

- ・HPと同様に、情報配信希望団体が、共催・協賛の関係または覚書締結の作業を行っているか確認の上、条件を満たしているもののみ、メールニュースの配信手続きを進める。条件を満たしていない場合には、迅速にその内容を審議するための体制を確認し、情報掲載依頼から1~10日以内に結論が見出せるように努力する。

- ・協賛団体の情報は、ニュースレター発行時に広報委員会が学会支援機構に最新情報を問い合わせ、最新情報を掲載する。

6. 財務活動

1) 会計業務の効率化

- ・会計業務の多能工化（メンバー全員が会計業務をできるようにする）

2) 一般および企業会員の新規獲得

- ・一般会員およびゴールド／シルバーの企業会員を増やす（24年度の継続）

7. 助成金活動および賞等選考活動

1) マンダム動物実験代替法国際助成金

株式会社マンダムからの支援を受け、動物実験代替法開発支援のための研究助成活動を行う。

第16回 研究報告会開催 @第37回宇都宮大会

第17回 助成期間終了～報告書受領

助成期間：2024年4月1日～2025年3月31日

第18回 助成金運用準備～採択研究決定

公募期間：2024年11月1日～2025年1月31日

審査期間：2025年2月1日～2025年3月31日

助成期間：2025年4月1日～2026年3月31日

2) NGRA(Next generation risk assessment)に関する研究助成金

日本化粧品工業連合会（粧工会）からの支援を受け、NGRA 研究助成活動を行う。

第9回 採択研究 研究遂行サポート（研究期間：23年4月～25年3月）

第10回 採択研究 研究遂行サポート（研究期間：24年4月～26年3月）

第11回 採択研究 公募及び審査（研究期間：25年4月～27年3月）

第12回研究助成活動の実施に向けて、粧工会と協議を行う。

3) 各賞選考

2025年度学会賞、第10回 LRI 賞、AATEX 優秀論文賞、大会における優秀発表賞など、各賞の選考を行う。

8. 理事長直轄のワーキンググループ活動

▶ SDGs ワーキンググループ

日本動物実験代替法学会として、継続的な会員増を目指した活動を展開する。

1) 日本化粧品学会との協同で化粧品セーフティアセッサー教育制度の立ち上げ

2) シニア会員制度の立ち上げと運用

3) 企業とアカデミアの連携強化策の立ち上げ（第37回大会におけるシンポジウム）

9. 次期役員の選出

✓ 選挙管理委員会を設置し、次期役員選挙の準備を開始する。

✓ 代議員選挙後、理事及び監事選挙を行い、選出を行う。

10.年間スケジュール

日時	学術的支援活動 等	出版活動 公募活動 他
9月	・EUSAAT2024(9.18-20, Linz)[国際]	
10月	・出前講義 1[3Rs]	
11月	・第37回大会にてシンポジウム開催 [企画・国際交流・SDGs] ・化学とマイクロナノシステム学会との合同セッション[学術] ・出前講義 2[3Rs]	・AATEX-JACVAM Vol.13 No.1 の発行予定 ・第18回マンダム研究助成公募開始 ・ニュースレター発行 (No.76)
12月	・第4回アジア会議(12.12-14, Delhi) [国際] ・Asian Federation 調印式[国際交流]	・AATEX 第29巻2号の発行予定 ・チャレンジコンテスト協賛企業の募集開始
23年/1月	・出前講義 3[3Rs]	
2月	・技術講習会開催[企画]	・第36回大会 Supplement の発行予定 ・選挙管理委員会の設置 ・代議員選挙の公示
3月	・出前講義 4[3Rs]	・ニュースレター発行 (No.77)

	・企業座談会 1[3Rs]	
4月		・チャレンジコンテスト 2025 の開催予告開始 ・第18回マンダム研究助成金採択決定通知 ・学会賞・LRI賞公募開始
5月	・出前講義 5[3Rs]	・理事・監事選挙の公示
6月	・KSAAE（日時場所未定）[国際] ・日本組織培養学会との合同シンポジウム [学術]	・チャレンジコンテスト 2025 の応募開始 ・AATEX 第30巻1号の発行予定 ・優秀論文賞審査開始
7月	・中国 TATT（日時場所未定）[国際] ・出前講義 6[3Rs] ・企業座談会 2[3Rs]	・ニュースレター発行（No.78）
8月	・WC13（8.31-9.4, リオデジャネイロ）[国際] ・技術講習会を開催[企画] ・チャレンジコンテスト 2024 の開催[3Rs]	・学会賞・LRI賞決定

以上